

よこたこども園だより

No.4 令和8年7月21日発行

わたしのうちの裏庭フェンスに、橙色のノウゼンカズラが咲き始めました。この花は夏から初秋にかけて、橙色から赤色の大きなラッパ形の花をたくさん咲かせます。(こころ辺の言葉で、『もぶれついて咲く』といひますかね?)花の直径はおよそ6〜7センチ、先が5つに裂けており、花は房状にまとまって咲き、遠くからでもとてもよく目立ちます。茎の節々から「気根」という小さな根を出して、壁や木に吸盤のようにくっつきながら登ります。漢字では『凌霄花』(りょうしょうか)と書き、『空をしのぐほど高くなる花』という意味の名前がついていますし、その花言葉は「名声・名誉・栄光・光栄・華のある人生・良縁」などとおめでたいものになっています。この花ことばとつるを空へ空へと伸ばす姿に、子どもたちの伸びていく力を重ね想いながら眺めています。

さて、生活体験についてお話しします。自然体験・社会体験と並んで、子どもの自己肯定感や社会性を育てる大事な体験のひとつです。具体的には火をたく、洗濯をする、ナイフや包丁を使うなど家事や工作などの身の回りの作業や人との日常の関わりなど、日常生活の中で自分の体や五感、心を使って実際にやってみた経験のことを指します。これは、「やったことのないことはできない。教えてもらってないことはわからない。」事柄の範疇に入ります。箸の使いかたや鉛筆の持ち方は教えてもらって、やってみないことにはうまくできません。

最近の子どもたちの姿を見ていると、箸や鉛筆の持ち方にも一人ひとりの成長のペースが表れているように思います。どちらも「親指・人さし指・中指の三本でそっとつまむ」という共通点があり、指先の育ちや姿勢と深くつながっているといわれています。箸は、まず下の箸を指のつけ根と薬指で支え、上の箸を三本の指で軽く動かすのが基本の形だとされています。鉛筆の持ち方は、三本の指でつまみ、中指の上に鉛筆を乗せるようにすると、力を入れすぎずに書きやすくなります。遊びや絵かきの時間を通して、手や指をたくさん使うことがうまくなるための近道です。園では食事の時間や制作活動の中で、子どもたちが自分のペースで持ち方を身につけていけるように声をかけていきたいと思っています。

ご家庭でも工夫を凝らした試みをしていただき、できたところと一緒に喜びながら、ゆるやかに見守っていただければと思います。(園長)



幼保連携型認定こども園
よこたこども園
奥出雲町横田1125
TEL (0854) 52-2296 (20)

笹巻き交流会



7月2日に「笹巻き体験」を行いました。横田・鳥上・八川・馬木地区有志の皆様のお力をおかりして、半夏の伝統的な風習を子ども達に教えて頂きました。だんごの粉をこねながら一緒に感触を感じたり、手を添えてもらいながら笹の巻き方を教えてもらいながら笹巻を体験することができました。「やったー！できたー！」と大喜びな子ども達。「巻けたね」と声をかけて下さる有志の皆様の笑顔がたくさん見られました。



笹巻が茹で上がるまでの時間は、ふれあい遊びを楽しみました。有志の皆さんの温かな手のぬくもりを感じながら、笹巻のゆであがりを待ちました。地域の文化に触れながらおいしい味を楽しむことができ、お腹も心も満たされた1日となりました。「ありがとう」と優しく声をかけてもらい子どもたちにとっても心あたたまるといふときになりました。



7月の保育目標

「水や砂に触れて夏の遊びを楽しむ」

水や砂に直接触れ、五感を刺激し、冷たさや感触の変化を全身で楽しみ、水の冷たさや泥の感触を肌で感じ、「気持ちいい」「楽しい」と感覚を味わいながら、水や砂遊びを楽しんだり、友だちと一緒にプール遊びを楽しんでいきたいと思っています。

8月のよこたこども園行事予定

4日(火) ふれあいデー(ばんだ組)
10日(月) 小森神楽鑑賞(10:00~)
12日(水)~15日(土)希望保育
26日(水)おはなしなあに(ばんだ組・きりん組・らいおん組)
27日(木) らいおん組クラス懇談会(17:30~18:30分)
28日(金)避難訓練

青:地域交流
緑:保護者参加

9月の予定

9月4日(金)劇団すぎのこ鑑賞(15:30~)
9月8日(火)避難訓練(消防署来園)
9月14日(水)4歳児運動遊び
9月15日(火)敬老の日のつどい
9月27日(日)秋のクリーン大作戦in馬木
9月28日~30日ひよこ組子育てトーク

《今月の健診》

7月 9日(木)
5歳児健診 (令和3年4月~・9月生)

7月23日(木)
3歳児健診 (令和4年11・12月生)

8月 6日(木)
1歳6ヶ月児健診
(令和6年12月・令和7年1月生)

8月20日(木)
10ヶ月・11ヶ月検診 (令和7年9・10月生)
7ヶ月・8ヶ月検診 (令和7年12月生)
(令和8年1月生)

8月のよこた子育て支援センター行事

4日(火) みんなであそぼう
28日(金) 子育てひろばinよこたこども園

22日(土) 子育て支援センター 開放日
24日(月) 子育て支援センター 休館日

よこた支援センター 開設時間
9:30~15:30 (月~金)

とまなびの芽

嵐谷さんが鳥上の畑にある腐葉土の土の中からかぶと虫が、成虫になって出てきているから「捕りにおいで」と声をかけて頂きました。4歳児(きりん組)・5歳児(らいおん組)が、かぶと虫捕りに出かけ、飼育していく中での学びの芽を紹介します。



小雨が降る中、カップを着て、腐葉土の混じった土の中を掘るとかぶと虫の雄と雌が、土の中から出てきました。「わあ~かぶとむしだ~」「だれかつかまえて」「たくさんでくるね~」と言いながら虫かごの中に入れて、園に大切に持ち帰り子ども達の飼育活動がスタートしました。元気なかぶと虫を捕まえて図鑑を開いて見比べたり、絵を描いたり。時には、誰もいなくなった暗闇の部屋を元気に歩き回ったかぶと虫が次の日、色々な場所からかくれんぼをしているかのように次々と出てきたことも・・・(何度か)そんなある日、虫かごの中で動かなくなったかぶと虫が数匹・・・

子ども達と話し合い、考えました。「かぶと虫かわいそうじゃない?」「なんでかわいそうだと思ったの?」(←保育教諭の言葉)「だって虫かごのなかは、せまいから」「ゼリーだけじゃたりないし。きのじゅえきがのみたいとおもう」「はねをひろげるとびたいとおもう」「また、やまにかえって、つちのなかにあかちゃんをうむとおもう」など子ども達が感じたかぶと虫の気持ちを伝えてくれました。(以前読み聞かせをした「きょうは泣き虫」の絵本のストーリーから感じたことを重ねる姿も見られました)

そして、かぶと虫は、夏の間だけの命だということを知りました。「やまにとんでいけるように、にがしてあげようよ」「うん! そうしよー」と言って園庭の木に走って行く子ども達。次の日、登園してきた子ども達は、かぶと虫の姿を確認しに行きました。「いなくなってる! やまに、とんでいったんだね~」と、笑顔いっぱいになりました。大切な命について子ども達と一緒に考える貴重な時間となりました。子ども達の学びの芽が出てきた瞬間です。



水遊び・フール遊び楽しんでいます!

園庭で、ぬるま湯や、水に触れ心地よさを感じたり、幼児プールへ行き全身を使って水遊びを楽しんでいます。友だちと一緒に楽しむ姿や「みてみて!!」「気持ちいいね」と子ども達の声が響いています。これから子どもたち一人ひとりの体調や気持ちに寄り添いながら、安全に配慮し夏ならではの遊びを思いきり楽しんでいきたいと思っています。

